

パーソナルコンピュータについて

総合情報処理センター

長崎 隆志

nagasaki@cc.nagasaki-u.ac.jp

1. 概要

今回の新システムにおいては、全部で 358 台のパーソナルコンピュータ（富士通 FMV-6733SL5：以下 PC）が導入されています。

主な特徴として、

- ・ OS に「Microsoft WindowsNT Workstation4.0」及び「Red Hat Linux」を採用し、電源投入時にメニューで選択して起動できること。
- ・ 総合情報処理センターが発行する ID とパスワードによるユーザー認証を行っていること。
- ・ 利用者による環境変更やフォルダ・ファイルの削除等がなされた場合でも、元の状態に修復可能な「セルフメンテナンスシステム」を採用していること。

等が挙げられます。PC の使い方については、

<http://w3.cc.nagasaki-u.ac.jp/center/tebiki/personal-com.pdf>

をご覧ください。

PC の設置状況は下表のとおりです。

総合情報処理センター	第一端末室	62
	第二端末室	102
	第三端末室	21
	演習室	10
	オープン利用室	14
	第一研究端末室	4
	第二研究端末室	2
	その他	15
全学教育棟	207 番教室	52
	208 番教室	32
附属図書館	本館	30
	医学分館	8
	経済分館	6
計		358

2. ハードウェア

ハードウェアの主要スペックは、次表のとおりです。

CPU	Pentium III 733MHz
メモリ	256MB
ハードディスク	10.2GB
ディスプレイ	15 インチカラー (液晶・CRT)
ネットワークインターフェース	10BASE-T/100BASE-TX
その他	CD-ROM ドライブ 3.5 インチフロッピーディスクドライブ MO ドライブ (センター内端末)

3. ソフトウェア

新システムの PC には、下表のソフトウェアが用意されています (Windows のみ)。

	ソフトウェア種類	製品名	備考
1	ブラウザ	Netscape Communicator V4.78	Internet Explorer も利用可
2	メール	Netscape Messenger	
3	ワープロ、表計算等	Microsoft Office2000 Professional	Word,Excel,Outlook,PowerPoint, Access,Publisher
4	エディタ	秀丸エディタ V3.05	多機能テキストエディタ
		Meadow Win32	Mule の windows 版
5	プログラミング	Microsoft Visual Basic 6.0	
		Microsoft Visual C++ 6.0	
		Perl for Win32	Perl の Windows 版
		Java2 SDK V1.3	Java 開発キット
6	日本語 TEX	pLaTeX2e	
7	ファイルビューア	Adobe Acrobat Reader V4.05C	PDF ファイルビューア
		IrfanView32 V3.33	画像ファイルビューア
		Ghost Script V6.50	Postscript ファイルビューア
		Gsview V3.5	
8	Telnet クライアント	Tera Term Pro V2.3	TTSSH V1.5.4 (SSH プラグインモジュール)
9	FTP クライアント	WS_FTP Pro 4.5J	
10	ファイル解凍・圧縮	LHA ユーティリティ 32 V1.41	LZH, ZIP, CAB, TAR の解凍・圧縮
11	漢字コード変換	QKC for Win95/NT V3.10	JIS, S-JIS, EUC の相互変換
12	タイプ練習	Mikatype	
13	X-Window クライアント	ASTEC-X V3.0	第二端末室のみ
14	ウイルス対策	Norton Antivirus	

これらのソフトウェアのうち、メールソフトの「Netscape Messenger」については、
<http://w3.cc.nagasaki-u.ac.jp/ccservice/id/id.6-jis.html#mail>
に基本的な使い方をまとめたマニュアルを掲載しています。その他のソフトウェアについては、
各々のオンラインマニュアルをご覧ください。

4. 教育支援システム

第一端末室・第二端末室・全学教育棟 207 番,208 番教室については、教育支援システム
「Advantage Class」を導入しています。これは、教官用端末と生徒用端末の間で、画面の送受
信やファイルの配布・回収等を行うことのできるシステムです。

「Advantage Class」の操作方法については、

<http://w3.cc.nagasaki-u.ac.jp/ccservice/id/advantage-jis.html>
をご覧ください。

また、「Advantage Class」のファイル配布・回収機能を補完するために、共有ドライブ (X)
を設けています。

その他、下記のような教育支援用機器を用意しています。

- ・ DVD-RAM ドライブ
- ・ ZIP ドライブ
- ・ デジタルビデオカメラ (三脚付き)
- ・ スピーカー
- ・ マイク
- ・ プロジェクタ

このうち、利用頻度が高い第一端末室・第二端末室のプロジェクタについては、天井吊り下げ
式とし、電動式スクリーンを備えています。簡単な使い方は下記のとおりです。

(ア) 第2 端末室のプロジェクターを映すとき

1. ホワイトボード右横の茶色のスイッチがスクリーンの昇降のためのスイッチです。
2. プロジェクターの操作はすべてリモコンで行います。
3. [POWER: ピンク色のボタン]を押します, 電源が入るのに少し時間がかかります。
4. カウントが終了すると, 第2 端末室の教師用 PC の画面が映ります。
5. カウントが終了しても, なにも表示されない場合は, [COMPUTER: 左1 番上のボタン]
を1 回押します。
6. [LASER: 黄色のボタン]はレーザーポインタとして利用できます。

(イ) 第1 端末室のプロジェクターを映すとき

1. 必要な機器の電源を入れる。(上記と同様に)
2. スクリーン昇降用のスイッチは, 教官用の机の左横に設置された, 机の上にあります。

(ウ) ノートパソコンの画面をプロジェクターに映すとき

1. 必要な機器の電源を入れる。

2. [IMAGENICS]の後ろにケーブルが出ていますので、ノートパソコンをそこにつないでください。
3. [INPUT SELECTOR]のつまみを2に合わせてください。

(エ) プロジェクターの電源を落とすとき

1. [POWER：ピンク色のボタン]を2回押すと電源が切れます。

注意：

1. プロジェクターの設置位置は、スクリーンが完全におりた状態のところに設定されていますので、スクリーンを途中で止めると、表示できない部分があります。
2. [INPUT SELECTOR]は1が教師用PCに設定されています。
3. [IMAGENICS]の電源が入っていないと、教師用PCにはなにも表示されません。
4. センターにてプロジェクターの設定を行っておりますので、リモコンの電源ボタン以外はなるべく触れないで下さい。
5. スクリーン昇降ボタン横のスイッチには、触れないでください。

5. 周辺機器

PCの主な周辺機器として、プリンタ及びスキャナがあります。機種・主要スペック及び設置状況は下記のとおりです。

- ・ モノクロレーザープリンタ DocuPrint201PS、DocuPrint400
 - DocuPrint201PS：モノクロ・片面印刷のみ 印刷速度 20 枚／分
 - DocuPrint400：モノクロ・両面印刷可 印刷速度 40 枚／分（両面印刷時 32 枚／分）
 - 第一端末室・・・・・・・・・・4台
 - 第二端末室・・・・・・・・・・4台
 - 第三端末室・・・・・・・・・・1台
 - 演習室・・・・・・・・・・1台
 - オープン利用室・・・・・・・・1台
 - 第一研究端末室・・・・・・・・1台
 - 第二研究端末室・・・・・・・・1台
 - 全学教育棟 207 番教室・・5台
 - 全学教育棟 208 番教室・・3台
 - 附属図書館本館・・・・・・・・3台
 - 附属図書館医学分館・・・・1台
 - 附属図書館経済分館・・・・1台
 - その他・・・・・・・・・・7台

- ・ カラープリンタ GL8300A
 カラー・片面印刷 印刷速度 13 枚／分 (モノクロ印刷時 21 枚／分)
 第二端末室・・・・・・・・・・1 台
 第一研究端末室・・・・・・・・・・1 台
 第二研究端末室・・・・・・・・・・1 台

- ・ 大判カラープリンタ PM9000C
 最大で B0 プラス (1,580mm×1,118mm) のカラー印刷可
 第一研究端末室・・・・・・・・・・1 台

- ・ イメージスキャナ GT7000S
 1670 万色対応 解像度 600dpi (A4)
 第二端末室・・・・・・・・・・8 台
 演習室・・・・・・・・・・2 台
 オープン利用室・・・・・・・・・・6 台
 第一研究端末室・・・・・・・・・・1 台
 附属図書館本館・・・・・・・・・・1 台
 附属図書館医学分館・・・・・・・・・・1 台
 附属図書館経済分館・・・・・・・・・・1 台